

令和6年3月21日（木）に、『第20回 いっそう元気！東近江』を開催しました。第19回の懇談で出ていない課題や気になることを中心に、「やってみたいこと」や「ワクワクできそう」なことを話し合いました。

5グループに分かれ懇談を行いました。各グループで出した内容をカテゴリー別に分けてまとめています。



1 駐車場所と福祉サービスへの理解



◆訪問サービスの駐車場問題

- ・利用者訪問時に駐車場がない…という課題。
滋賀県社会福祉学会で草津市社協が第2層協議体と協働し、サービスを利用するというところへの理解を広げ、駐車場問題を解決する事例を研究発表されていた。
- ・ただ駐車場問題を解決するだけではなく、サービスの必要性を理解してもらい、その理解が普段の見守りやつながりになっているのがポイントだと感じた。

◆専門職 SOS コーンの設置

- ・子ども110番のように「専門職さん（ヘルパーなど）停めてください」のようなコーン設置運動をすすめたい。企業や事業所も「これならできると」思っていただけではないか？

2 つながるより先に“知り合う”

◆つながるより先に住民と専門職が互いを知り合うことが必要

- ・専門職との関わり方がわからない住民も多い。頼むとお金がいるというイメージもある。
- ・サービスを利用すると、地域でのつながりが切れてしまう傾向のことも知って欲しい。協議体セミナーでは、住民活動者も同じことを感じておられた。
- ・専門職も住民の暮らしぶりや住民主体の活動や思いを知らないし、理解できていない。利用者にはサービスを通しての関わりしかできていない。専門職も地域を知り、地域づくりの活動を理解することは必要。



3 地域の活動を応援

◆『ちょっときてえな講座』の福祉版人財バンクのような仕組みづくり

- ・専門職が地域で出かけて、サロンなど地域活動を元気にできないか…
- ・専門職ばかりではなく、支援を受けながら豊かに暮らす当事者からも話をしてもらえとがんばって暮らしている姿を知ってもらえ、印象にも残る。当事者の役割にもなる。

4 高齢男性の居場所+働く機会



- ❖地域の集いの場に男性の参加が少ない
 - ・サロンなど地域の集いの場には、男性の参加が少ない。
 - ・仕事など役割がある場だと参加がしやすい。働いてお金がもらえるなど条件があれば参加のきっかけや動機になるかも。
- ❖農業を通じた地域活動
 - ・「農業で活躍」という考え方を今後も広げていく必要がある。御園のように地区の中で継続していける形を検討できるとよい。

5 “〇〇がやりたい” がメインで考えられる仕組みづくり

- ❖何かしたい人と、してほしい人が気軽に繋がって、みんながイキイキできる地域に
 - ・企業やまち協などで、ちょっとした仕事を頼みたいが、そのためだけに人を雇ったり、募ったりできない。
 - ・愛東では、短期で需要が少ない(お味噌の小分け作業など)仕事を働きづらい方への仕事として受けている。
 - ・何かきっかけがあれば能力を発揮できる人もたくさんいる。そのきっかけをつくれなにか。
 - ・草引きやネギの収穫など、ちょっとした仕事やボランティア活動がやりたい人と気軽につなれるマッチングアプリをつくれなにか。名前は「ちょっとたすけてーなアプリ(仮)」。
 - ・高齢の方だけでなく、長年就労経験がない人にとっても、外に出たり、人とつながれる機会になれば。

6 防災を切り口にしたつながりづくり

- ❖隣近所での助け合いの意識
 - ・困っている人のことやつながりや助け合いのことを話す時、防災を切り口にするとみんな考えてくれたり話が進んだりする。能登半島地震をきっかけに、地域の若い人で「助け合えるのは隣近所」と話しておられた。若い人もそのように感じている。



7 暮らしの困りごと

❖暮らしの困りごとを解決するための仕組み・ボランティア活動について



- ・車の返納をされる方が増え、生活支援サポーターに送迎の相談が来るが増えた。生活支援サポーターも高齢化し、送迎をできる人が少なくなってきた。サポーターだけで担うのは難しくなってきたと感じる。
- ・つつい高齢者にスポットが当たりがちだが、年代に関わらず、暮らしの困りごとを抱えている人はいる。
- ・“草刈り隊”のような、手の空いている人が集まって活躍している、お茶のみしているコミュニティもある。

その他にも・・・

グループ懇談で出ていたキーワードとして、“つながり”や“社会参加”、“障がいや認知症への理解”などがありました。また、「いっそう元気！ひがしおうみで協議、検討したことを2層協議体に広げていきたい」との思いもありました。みなさんから出てきたたくさんの思いや願いをもとに、『いっそう元気！東近江』でできることを進めていきましょう。

社会福祉法人東近江市社会福祉協議会

～誰もが支援が必要かどうかに関わらず、自立して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり～